



横浜グリーンエキスポで広がる学びの未来：幸せを創る明日の風景

横浜市の教育ビジョン2030と響き合い、子どもたちの自己変容と社会変容を促す、巨大な学びの教室

小学生と大学生が共に創る、
地域探求学習型 空間共創プロジェクト

立命館大学産業社会学部 永野ゼミナール × 横浜市立平戸台小学校





学校教育目標「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」

横浜市立平戸台小学校 学校だより

ひらりん cha-cha-cha

令和8年度 特別号（令和8年7月25日発行）

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiradodai/>





学びの輪、
地域の和。
未来へ繋ぐ

平戸台を GREEN×EXPO2027 で発信 「みんなで」教育を充実させるきっかけに

校長 竹下 護

夏休みが始まりました。酷暑で室外の活動が制限される日が続いています。子どもたちだけではなく、ご家族、各地で暮らすご親戚等、みなさまどうかご自愛ください。

本校では7月27日まで保護者面談をしています。一人一人のこれまでの成長やこれからの伸長等について対話し、今後さらに「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」の育成につながるようにしていきます。暑い中のご来校、本当にありがとうございます。

さて、本校は2027年3月19日から9月26日まで開催される「GREEN×EXPO2027 国際園芸博覧会」に出展する京都・立命館大学の永野ゼミナールの取組に賛同し、全児童が地元の浜なしを使う染物に取り組み、その作品が GREEN×EXPO2027 国際園芸博覧会会場に展示されることとなりました。来年度、横浜市立学校は博覧会会場に招待される（学校により参加方法は異なる。本校は全児童で参加。）ので、自分たちの活動成果を万博会場で実際に目にすることになります。（学校招待とは別に、市内在住の満4歳～満18歳の子どもは、各ご家庭からの申込により、無料招待されます。）



↑ 完成イメージ（竹のドーム）

※ 竹は京都の石清水八幡宮の竹が使われます。

発明王とも呼ばれているエジソンが、白熱電球のフィラメントとして世界中の竹から選んだのが、石清水八幡宮の竹でした。



↑ ドーム内部のイメージ（平戸の浜なしで染めた布が随所に）

立命館大学産業社会学部 永野 聡 教授のゼミナールが大切にしていることは、「シビックプライドの醸成」です。地域で長い間大切に守られてきたものを通じて、子どもたちが「地域の誇り」を体感し、意識の変容をもたらすことを目標としている研究グループです。

本校の学校教育目標 <心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子>

(知) めあてに向かって 粘り強く取り組み 互いに学びあえる子を育てます。

(徳) 自分も友達も大切にする 心豊かな子を育てます。

(体) 心と体を大切に し たくましく生きる子を育てます。

(公) 住んでいるまちのよさを知り 共に生きていこうとする子を育てます。

(開) 社会への視野を広げ 柔軟に対応できる子を育てます。

に直結する活動として、本校は生活科や総合的な学習の時間等を活用し、教科横断的に取り組みます。

また、本校が大切にしている合言葉 <ひらりんc h a - c h a - c h a >

学びのチャンス ひと、材、場など豊かな学びの機会を生かそう

可能性にチャレンジ 失敗を恐れず、仲間を信じ、自分の可能性を広げよう

自信と元気をチャージ やる気、自信、元気を蓄えよう

にもつながります。

7月16日には、立命館大学の大学生からのビデオレターを全校で視聴しました。今後、児童は、大学生から提案された「ミッション」に取り組んだり、大学生に平戸台の地域のことを伝えたり、交流したりする活動に取り組んでいきます。



↑ ビデオレター視聴（体育館）

本校の「GREEN×EXP02027 国際園芸博覧会」につながる活動は、保護者や地域のみなさまのご理解とご協力が必要です。また、いつでも参観できるので、ご連絡をお待ちしています。

今後、以下の予定で活動をします。この取組を通して、学校（全児童・全職員）・保護者・地域の「みんな」が、心をつなぎ、笑顔がいっぱいになり、みんなが輝けることを願っています。本校の教育が充実する取組となるよう、よろしくお願いします。

【今後の予定】 詳細は決まり次第、すぐーやホームページ等でお知らせします。

横浜市教育委員会の撮影取材も入ります。承諾書のすぐー回答をお願いします。

8月末 「1・2年生のミッション」

地域の梨園に染料の材料となる浜なしの枝を10kg集めに行く。

そのあと 「3・4年生のミッション」

枝を鍋に入れて染料を煮出せるように適当な長さに切りそろえ、京都の立命館大学に送る。（大学生が大学で染料を作り、9月16日に京都から運んで来る。）

9月17日（木） 「5・6年生のミッション」

大学生といっしょに布を浜なしの染料で染める。

※ 地域の方に梨の枝をいただいたり、平戸町公民館をお借りしたりします。

※ 保護者や地域の方から、染物に必要な鍋・こんろ等の用具をお借りするかもしれません。

※ GREEN×EXP02027 会期中も大学生との交流を続ける予定です。